

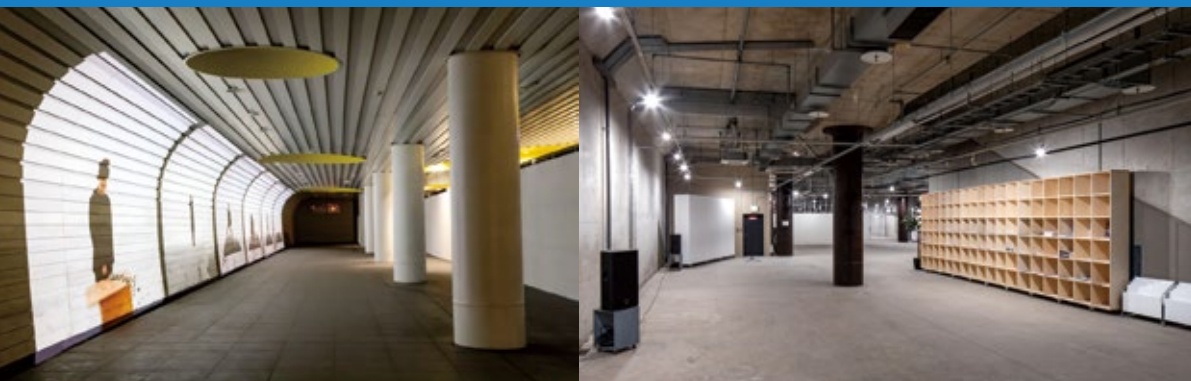


R16スタジオ、ここは東急東横線廃線跡の再開発を待ちながら15年間封印されていた場所。  
BankART Station、ここはみなとみらい線新高島駅の地上階開発のバイパスのために用意されたが15年間眠っていた場所。

この展覧会はこのふたつのアートを往來することから始まる。

都市の野生空間とクリエイターがどう関わるのか？

古くから続く街とみなとみらいの新都市を連結させる密かなトンネルを見つけることはできるか？



# 雨ニモマケズ SINGING IN THE RAIN

# 雨ニモマケズ SINGING IN THE RAIN

「参加作家」

owowbund1871・小田原のどか・開発好明・金子未弥・363table・Sha-Ba (写真)・

高橋啓祐・土屋信子・西原尚・nitehi works・マツダホーム(松田直樹・松田るみ)・松本秋則・

村田峰紀・山下拓也・渡辺篤

## 「雨ニモマケズ(singing in the rain)」

2019年3月1日[金]～3月24日[日] (会期中無休) 11:00～19:00

会場: BankART Station + R16スタジオ 入場無料

・オープニングパーティー: 3月3日[日] 料金: ¥500  
14:00～15:15 (R16) 移動 → 15:30～16:30 (BankART Station)

## 「アクセス」

**BankART Station** 横浜市西区みなとみらい5-1「新高島駅」地下1F

**R16スタジオ** (横浜市西区桜木町7-48)

みなとみらい線「新高島駅」より徒歩5分、

市営地下鉄「高島町駅」より徒歩5分

高島町駅、横浜駅東口から、迂回する陸橋をご使用ください。

またバス停「高島町」「花咲橋」からも歩けます。

\*国道16号線の横断歩道のない場所を横切るのは、絶対に止めてください。

**Creative Networkとは?** これまでの横浜市における約13年間の創造都市施策のあゆみを、レクチャー、アーティストトーク、スタジオワーク等のプログラムの開催を通して、この一年間、検証していくプログラムです。こうした活動と情報発信を通して、各創造界隈拠点の繋がりを深め、その活動を広く市民に周知し、次世代につながる都心臨海部の賑わいづくり、活性化を目的とします。

## 「お問い合わせ」 BankART1929

info@bankart1929.com TEL: 045-663-2812 FAX: 045-663-2813

主催: BankART1929 共催: Creative Network 実行委員会 助成: 芸術文化振興基金



[日程]

2019.3.1.fri – 3.24.sun

[会場]

BankART Station + R16 Studio

みなとみらい線「新高島駅」地下1階

国道16号線スタジオ(東横線廃線跡)





# BankART Station

## A | 高橋啓祐

### 《public=un+public vol.2》

羊が町を埋めてつなぎます。



《The Fictional Island》2016

たかはしけいすけ | 映像作家。美術館、ギャラリー、劇場、パブリックスペースなど多様な空間で作品を発表。映像インスタレーションとともにパフォーマンスも展開し、身体と映像の関係性を追求している。BankART1929や、イタリア、台湾のギャラリー等にて個展を開催。瀬戸内国際芸術祭(2016)や上海ビエンナーレ(2004)、ジャカルタビエンナーレ(2017)といった国際展への参加をはじめ、BankART Lifeや黄金町バザールなどにも参加し、横浜を拠点に国内外での制作、発表をおこなっている。2005年「第9回文化庁メディア芸術祭」審査委員会推薦優秀作品受賞など。

## D | 山下拓也

### 《Sistamp》

版木化した衝立(ケヤキ無垢材)とそこから掲げ上げた版画によるインスタレーション。

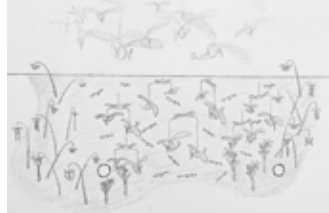


やましたたくや | 1985年三重県生まれ、名古屋市在住。2013年、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。主な個展に《Ningxia. Rd. Sec. Y》β patz (カールスルーエ/ドイツ/2018)、《Yanping N. Rd. Sec. Y》TALION GALLERY(東京/2018)。主なグループ展に《瀬戸内国際芸術祭2016》(宇野港周辺岡山/2016)、《あいちトリエンナーレ2013》(長者町会場、松本町会場愛知/2013)。

## B | 松本秋則

### 《Sound Forest》

地下空間に出現した、憩いの森。



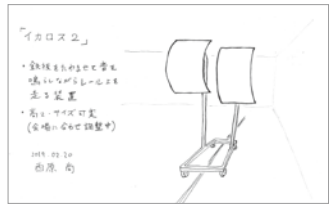
Made in China(銀川現代美術館/中国)

まつもとあきのり | 1982年より音の出る作品(サウンドオブジェ)の制作を始める。それらの作品を使用して様々な空間にサウンド・インスタレーションとして展示する。個展「Mede in China」(MOCA YINCHUAN、中国/2018)、第34回全国都市緑化はちおうじフェア(富士の森公園、八王子/2017)、ISSEY MIYAKE Botanical Delights (ISSEY MIYAKE 銀座店、他/2017)、個展「オトノフウケイ」(彫刻の森美術館、箱根/2015)、個展「sound sculptures」(Flinn Gallery Greenwich Library、USA/2015)など。

## E | 西原 尚

### 《イカロス2》

羽ばたき続けるこのイカロスは、フェイクニュースのこの時代においても信用できるかもしれない。



にしはらなお | 1976年生まれ。音を主軸に、美術制作とパフォーマンスを行なっている。音を鳴らすために必要な体や物へと関心事項や制作動機は展開し、同時に活動領域は美術や音楽を横断し拡張している。国内外の展覧会やパフォーマンスイベントに参加。主な展示に「KANGKANGEE Arts Village Project」(屋外常設展示、韓国釜山/2018)、「この音がずっと響きますように」(個展・パフォーマンス、広島、広島市現代美術館/2017)、「六本木クロッシング 2016」(森美術館、東京/2016)、「under35 gallery」(横浜トリエンナーレ特別連携企画<新・港村>/2011)。

## C | 開発好明

### 《雲と雨》

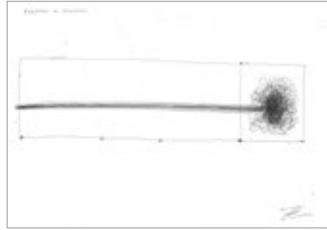


かいはつよしあき | 1966年山梨県生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科修士課程修了。観客参加型の美術作品を中心に、社会情勢を取り入れ様々な表現活動を行う。2004年ヴェネチア・ビエンナーレ第9回国際建築展日本館「おたく:人格=空間=都市」、2006年「越後妻有大地の芸術祭2006」。2011年8月から1ヶ月間被災地30カ所を巡り東日本大震災のためにアートによる心の繋がりを運ぶ、「デイリリーアートサーカス 2011」を主催。「いちばらアート×ミックス2014」では、モグラの着ぐるみを着て地下で番組を配信する《モグラTV》で人気を博し、2016年には、市原湖畔美術館で大規模な個展「中2病展」を開催。

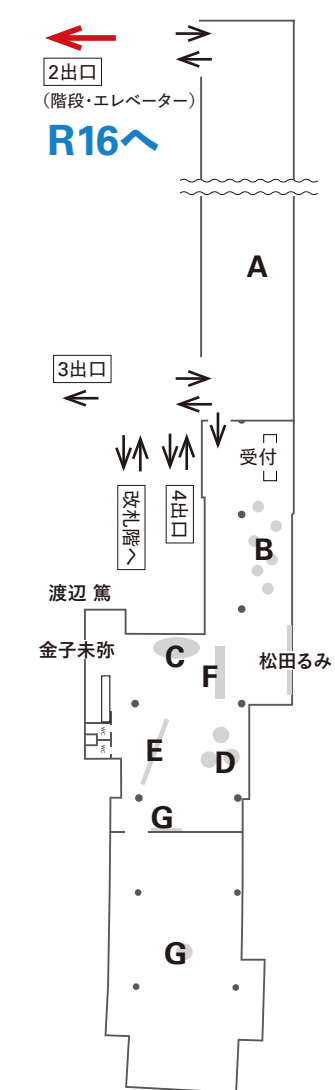
## F | 村田峰紀 (R16でも展示)

### 《station to station》

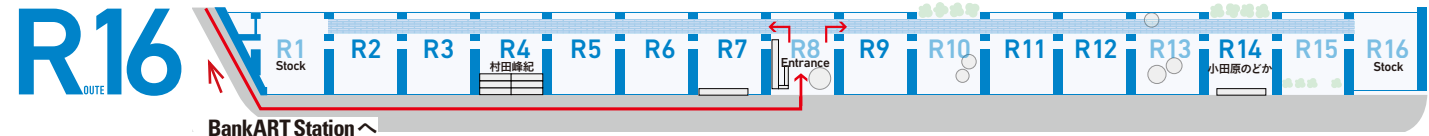
AからBへ BからAへ 人の熱量を届けます。



むらたみねき | 1979年群馬県生まれ。前橋市在住。2005年多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業。原始的身体所作で強いインパクトを与えるパフォーマンスや、その結果として産み出されるインスタレーション、ドローイング等を発表している。Ongoing Collectiveのメンバー。個展に「vision inside」(rin art association、群馬/2018)、「+」(ギャラリーハシモト、東京/2017)、グループ展に「現代ドローイング国際芸術祭「TWO STICKS」」(ヴロツワフ建築博物館、ヴロツワフ、ポーランド/2016)、パフォーマンスイベントに「間人」(村田峰紀 + 首ぐり栲象+山川冬樹、前橋市芸術文化れんが蔵、群馬/2016)。



FLINN GALLERY SINGING IN THE RAIN



## R2 | 金子未弥

(BankART Stationにも展示)

R16スタジオ:《セルフポートレート》 BankART Station: 《ポートレートのためのドローイング》 13の場所を示す自身のポートレートと、ワークショップのためのドローイング。



かねこみや | 2017年多摩美術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻修了、博士号(芸術)取得。黄金町レジデンス・アーティスト、ART IN THE OFFICE 2018 受賞、Tokyo Midtown Award 2017 グランプリ受賞。人々の場所に関する記憶から「都市の肖像」へと導くプロジェクトや作品制作を行っている。

## R7 | 土屋信子

### 《30ways to go to the moon その後の巻》

月へ行くための装置を開発中。出来上がったものと同時に、開発中の様子を公開します。



《↓ (2017)》2017

つちやのぶこ | 横浜生まれ。彫刻、インスタレーションを中心にパフォーマンス、ビデオ作品を展開している。シリコン、羊毛、金属、ワックス、プラスチック、あるいは廃材を用い、その組み合わせや扱い方は作品を特徴づける要因の一つであり、ノスタルジックな未来的ファンタジーを匂わせる。2001年ゴールドスミスカレッジ(ロンドン)を終了後2011年までロンドンを拠点に活動。2003年のベニスビエンナーレを始め、国内外、特にヨーロッパの美術館、芸術祭に多数発表している。

## R3 | Sha-Ba (写場)

会期中は、ゲストをお招きしてのトークイベント「しゃばり場」をはじめ、WS等の様々なイベントを開催、参加者には全14種から選べる特製「Sha-Badge(写パチ)」を贈呈!作品展示とともに、身に付ける作品(!?)もぜひお楽しみください。

- ◎ゲストトーク「しゃばり場〜Sha-Ba-da-ba-da〜」(秋山直子・菅原康太)3/2(土)17:30~18:00 小説家・阿川大樹氏、3/16(土)17:30~18:00 グラフィックデザイナー・岡部正裕氏、他
- ◎「モバイル顕微鏡で覗いてみよう」(秋山直子) 案内:白根純人(モバイル顕微鏡デザイナー)https://lis-co.net |3/3(日)12:00~14:00、3/10(日)13:00~15:00、3/21(木祝)17:00~19:00
- ◎「撮影会」(古賀通代)|3/16(土)・17(日)13:00~15:00 会場:R4 要予約(photo\_michi@yahoo.co.jp)
- ◎「お馬流しの450年の歴史を知らう〜雅楽と巫女の舞」(古賀通代)|3/10(日)15:30~16:30 会場:R4
- ◎ワークショップ「みつめて写す」(北山深雪)3/2(土)、3/6(水)、3/13(水)、3/20(水)、3/23(土)11:00~13:00、14:00~16:00(約15分) 料金:100円
- ◎「オープン制作」(hondachihiro)毎日16:25~16:55 制作中は会場消灯一部スペース立入禁止

※特に記載がないものはすべて「会場R3、料金無料、予約不要」となります。



しゃば | 写場は、写真家からなる、シェアスタジオ。「Sha-Ba(写場)」は案外あたたかい!? コタツと畳の「Sha-no-Ma(写の間)」あります。

## R9 | 渡辺 篤

(BankART Stationにも展示)

### 《七日間の死》

この箱は日本に150万個以上ある



《七日間の死》 ©Atsushi Watanabe, Photo: Keisuke Inoue



《アイムヒア プロジェクト》 ©I'm here project / Atsushi Watanabe 2018-2019

わたなべあつし | 現代美術家。東京藝術大学在学中から、社会からタブーや穢れとして扱われる要素を持った様々な問題やそれらまつわる状況を批評的に取り扱ってきた。近年は、自身も元当事者である「ひきこもり」の経験を基点に、心の傷を持った者たちと協働するプロジェクトを多数実施。ここでは、当事者性と他者性、社会包摂の在り方についてなど取り組みを行う。主な展覧会は「まなざしについて」(高架下スタジオ Site-A ギャラリー、神奈川、2019年)「わたしの傷 / あなたの傷」(六本木ヒルズ A/D ギャラリー、東京/2017)など。

## R5 | 363table

### 《日常運河》

横浜に暮らす人やアーティストとともに、食や映像、パフォーマンス、蚤の市、トークイベント、フリーペーパー作成などをおこない、日常から生まれる、「横濱の古と新」「旧市街地と新市街地」が交わるような表現を運河のように届けていきます。



363てーぶる | 内藤正雄(横浜/常盤町、山元町「tenjishitsu:Tür aus Holz」店主)、六反征吾(ミュージシャン、陶芸家を経て現在は呑み屋/カレー屋店主)、鶴飼三千男(ビンテージ眼鏡店「素敵眼鏡 MICHIO」店主)、坪田義史(監督、脚本)、福島健士(写真家)の5名によるチームです。食や映像、音楽、パフォーマンスなどをおとて人と人、モノと人が結びつく「点」のようなパブリックスペースを表現します。

## R11 | nitehi works

### 《見えない再生》

日常の中に、自由で予想外な「モノ」「コト」「バ」をプロットし、街の中の「ゆたかないばし」について、サイトスペシフィックに思考し、制作します。日常の中で見過ごされがちな、消費しない「価値」や「資源」を探し出し「そこにしかない、そこだからこそ生まれる「気付き」」を活動の軸としています。あらゆるジャンルが交差する場を作り、より身近な処から、偶然にも余白が美しい絵画が生まれる様な感覚を、多くの方々と共に、暮らしの中に探して行きたいと考えています。



にてひわーくす | 2010年より、稲吉 稔(美術家)、渡辺 梓(役者)と有志と共にアートプロジェクト「似て非 works 株式会社」を設立と同時に、元銀行のアートスペースを運営(2010~16)、ハンマーヘッドスタジオ参加(2012~14)、BankART AIR 2016参加、アトリノバージョン「ゆたかないばし」を各エリアにプロットする。

## R6 | マツダホーム

(松田直樹+松田るみ)

松田直樹(旧市街地~R16~みなとみらい) 数ヶ月にわたり、旧市街地とみなとみらいを標定歩き、その足跡を1枚の紙に重ねていった。

松田るみ(風景) スタジオから見える風景をテーマに映像作品を制作します。



まつだほーむ | 2017年「黄金町バザール 2017~Double Façade 他者と出会うための複数の方法」(高橋ビル302/黄金町)、2018年 MATSUDA HOME WEDDING PARTY(BankART NYK KAWAMATA HALL)、2018年黄金町レジデンス2018 成果展 (site - A / 黄金町)、2018年3月から関内にてマツダホームとして生活、2018年 R16 - 国道16号線スタジオに参加、10月オープンスタジオ (Creative Network 事業 / 横浜)。



### 松田るみ (in the drawing)

(BankART Stationに展示)

映像に映る自分の姿をなぞるパフォーマンス映像作品を展示します。

## R12 | owowbund1871

2018年11月、創造界隈横浜を形成する建築家を中心としたチームによって、身近な資源を電気に変える、小さな発電所をつくろうと立ち上げました。発電量はまだまだですがPC作業ぐらいはまかなえるようになりました。

2019年3月、(新)高島まち歩きツアーを企画します。R16の各ブースの紹介、近代横浜の始まりとしての高島町界隈、めぐるしく変化するみなとみらい、その接点から見てくる、街の歴史と未来を探ります。ひきつづき発電実験も継続中です。



おうおうばんど1871 | メンバー:佐々木龍郎(佐々木設計事務所/横濱まちづくり倶楽部副理事長)、加茂紀和子(みかんぐみ共同主宰、名古屋工業大学教授)、曾我部昌史(みかんぐみ共同主宰、神奈川大学工学部建築学科教授)、竹内昌義(みかんぐみ共同主宰、東北芸術工科大学環境デザイン学科教授)、マニエル・タルディツ(みかんぐみ共同主宰、明治大学大学院特任教授)。